

「山形市発展計画2025」の変更について（令和3年2月変更）

概要版

山形市は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、「山形市発展計画2025」の策定時には想定していなかった社会経済状況や、市民の意識・価値観などの変化を踏まえ、計画に「感染症に強いまちづくり」及び「アフターコロナにおける地方創生の推進」を視点とした新たな施策や事業を加え、健康医療先進都市の確立と地方創生に向けた取組の更なる強化を図っていきます。

感染症に強いまちづくり

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を教訓に、いかなる感染症であっても感染やまん延を防ぎ、感染対策と社会経済活動の両立を図るため、感染症に強いまちづくりに取り組みます

- 学校施設や飲食店をはじめとする店舗、多くの市民が利用する市有施設、公共交通機関等、様々な社会基盤において感染拡大を防止するためのハード整備を進めます。
- 店舗やイベント等におけるキャッシュレス化の促進により接触機会を減らすとともに、道路での店舗利用などの社会環境整備に取り組みます。
- 感染予防に関する正しい知識の普及・啓発などの取組を積極的に行い、市民一人一人への感染予防の取組を促します。

アフターコロナにおける地方創生の推進

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機とした、アフターコロナ時代における社会経済状況の変化を地方創生のチャンスと捉え、デジタル技術の有効活用を図るとともに、東京一極集中の是正を図る受け皿として、移住人口や関係人口、交流人口の増加を目指します。

- デジタル技術を様々な場面で有効に活用し、多様化・複雑化する地域課題を解決し、安全で快適な社会を実現するため、スマートシティ※を推進します。
- テレワークやワーケーションなど新たな働き方が浸透する中、移住・定着や企業誘致を促進します。関係人口を増やす取組を一層強化するとともに、山形市の魅力の向上と発信のための取組を推進します。
- AIなどの先進技術を行政事務や手続きに積極的に取り入れることで、市民サービスの質の向上と効率化を図ります。

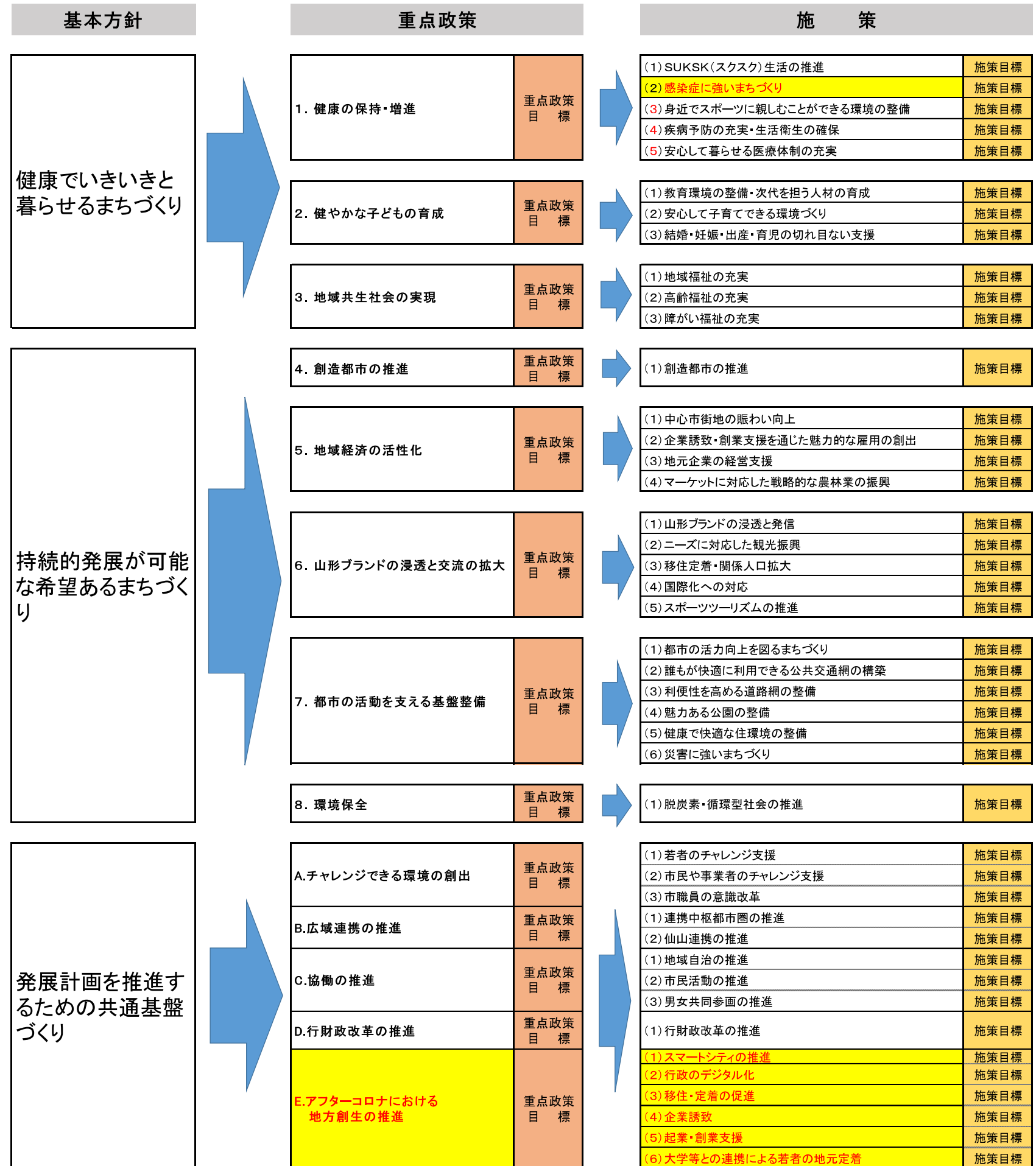
※スマートシティ：都市が抱える課題（例：災害対応、交通渋滞、健康増進施策、観光マーケティング、除排雪など）を最先端のデジタル技術を活用し、解決する取組

[新たな施策を網掛けで表示しています。]

基本方針	重点政策	施策	今後の取組	主な主要事業	主な重点施策目標（現在値）（目標値）						
健康でいきいきと暮らせるまちづくり	1. 健康の保持・増進	(2) 感染症に強いまちづくり	① 感染症に強い社会環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策施設整備改修方針策定事業(新規) ・中心市街地歩行者空間創出等事業(拡充) ・感染症に強いイベント環境整備事業 ・チャレンジ企業応援事業(拡充) ・感染症予防に係る正しい知識の普及・啓発事業 ・里帰り出産できない妊産婦への育児支援サービス事業 ・感染症予防対策事業(福祉施設職員研修) 	<table border="1"> <tr> <td>健康寿命の延伸(年間)</td> <td>男 80.44年</td> <td>男 80.94年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>女 84.43年</td> <td>女 84.93年</td> </tr> </table>	健康寿命の延伸(年間)	男 80.44年	男 80.94年		女 84.43年	女 84.93年
			健康寿命の延伸(年間)			男 80.44年	男 80.94年				
	女 84.43年	女 84.93年									
			② 感染予防と正しい知識の普及・啓発								
発展計画を推進するための共通基盤づくり	E. アフターコロナにおける地方創生の推進	(1) スマートシティの推進	① スマートシティの推進に向けた基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートシティ調査検証事業(新規) ・介護・障がい福祉分野におけるロボット・ICT活用促進事業(拡充) ・山形市地域公共交通計画推進事業 ・新聞記事データベース活用モデル事業(新規) ・家庭学習のための通信機器整備支援事業 	<table border="1"> <tr> <td>路線バス等の利用者に占める交通系ICカード利用者の割合(年間)</td> <td>0%</td> <td>50%</td> </tr> </table>	路線バス等の利用者に占める交通系ICカード利用者の割合(年間)	0%	50%			
			路線バス等の利用者に占める交通系ICカード利用者の割合(年間)			0%	50%				
			② 社会・産業分野における推進								
			③ 教育分野における推進								
		④ ICT等を活用した市民サービスの向上									
		(2) 行政のデジタル化	① 基幹システムの標準化	<ul style="list-style-type: none"> ・次期基幹システム構築運用事業 ・職員の集団感染リスク低減のためのテレワーク(分散勤務)推進事業 ・スマートシティ調査検証事業(新規) ・保育所等利用調整AIマッチングシステム導入事業 ・市税のスマートフォン収納導入事業(新規) ・山形市LINE公式アカウント構築・運用事業(拡充) ・AIIによるケアプラン作成支援モデル事業 	<table border="1"> <tr> <td>スマートフォン収納の利用実績(年間)</td> <td>0件</td> <td>2,750件</td> </tr> </table>	スマートフォン収納の利用実績(年間)	0件	2,750件			
			スマートフォン収納の利用実績(年間)			0件	2,750件				
			② テレワーク(分散勤務)の推進								
		③ AI等の活用による行政事務の効率化									
		(3) 移住・定着の促進	④ AIによるケアプラン作成支援モデル事業	<ul style="list-style-type: none"> ・映像によるシティブランディング推進事業(新規) ・テレワークにも対応した移住・定着促進事業(拡充) ・山形ブランドメンバーズ事業(拡充) 	<table border="1"> <tr> <td>県外からの転入者数ー県外への転出者数(計画期間累計)</td> <td>-1,472人</td> <td>0人</td> </tr> </table>	県外からの転入者数ー県外への転出者数(計画期間累計)	-1,472人	0人			
県外からの転入者数ー県外への転出者数(計画期間累計)	-1,472人		0人								
① 多様な働き方による移住・定着の促進											
② テレワーク(分散勤務)の推進											
(4) 企業誘致	⑤ 映像によるシティブランディング推進事業(新規)	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートシティ調査検証事業(新規) ・企業誘致・立地促進事業 ・移住・定着促進事業(拡充) ・若者定着促進事業 	<table border="1"> <tr> <td>市の誘致による市外企業のオフィス立地数(累計)</td> <td>0社</td> <td>5社</td> </tr> </table>	市の誘致による市外企業のオフィス立地数(累計)	0社	5社					
	市の誘致による市外企業のオフィス立地数(累計)			0社	5社						
	① 多様な働き方や新産業の創出による企業誘致の推進										
③ AI等の活用による行政事務の効率化											
(5) 起業・創業支援	⑥ 映像によるシティブランディング推進事業(新規)	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートシティ調査検証事業(新規) ・企業誘致・立地促進事業 ・移住・定着促進事業(拡充) ・若者定着促進事業 	<table border="1"> <tr> <td>山形市創業支援事業計画に基づく山形市内での創業者数(累計)</td> <td>204人</td> <td>300人</td> </tr> </table>	山形市創業支援事業計画に基づく山形市内での創業者数(累計)	204人	300人					
	山形市創業支援事業計画に基づく山形市内での創業者数(累計)			204人	300人						
① 起業・創業支援											
(6) 大学等との連携による若者の地元定着	⑦ 映像によるシティブランディング推進事業(新規)	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートシティ調査検証事業(新規) ・企業誘致・立地促進事業 ・移住・定着促進事業(拡充) ・若者定着促進事業 									
	① 大学等との連携による若者の地元定着										

●その他、新たに追加した主な主要事業：七日町賑わい創出拠点整備事業、済生館改築整備計画検討事業、山形広域炊飯施設建設事業、あかねヶ丘陸上競技場3種公認更新・管理運営事業 等

●「山形市発展計画2025」の体系図



〈SDGsとの関連について〉
山形市発展計画2025では、計画に掲げる施策ごとにSDGs(持続可能な開発目標)における17のゴールのうち、該当するゴールを整理し、表記しています。各施策を遂行するにあたり、施策ごとに数値目標を定めていますので、その到達具合により、PDCAサイクルによる改善を図りながら、目標の達成とSDGsの実現につなげていきます。